

【報道関係各位】

株式会社ベネッセコーポレーション

代表取締役社長 福島 保

～幼児から高校生を対象にした環境活動「エコロ プロジェクト」結果報告～
幼児対象の活動には全国より約 3,600 園が参加
小・中・高校生対象の「環境」をテーマにした
作品コンクールは、受賞者が決定し 29 名が入賞

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山県岡山市、以下：ベネッセ）は、「環境」を経営の重点課題のひとつと位置づけ積極的に取り組んでいます。ベネッセの環境活動のひとつとして実施している「エコロ プロジェクト」の今年度の結果が出揃いましたのでお知らせします。

【2009年度「エコロ プロジェクト」活動報告】**① 幼児の部****<内容>**

全国の保育園から希望を募り、環境をテーマにした紙芝居を無償で配布し、幼児は園での紙芝居、家庭での復習教材、そして園での確認教材の連動する **3種類**の教材を使いながら、「環境」について幼児が考えることのできる活動を実施しました。

<結果>

全国から **3,604** の保育園が本活動に参加し、そのうち **303** 園から実際に幼児が取り組む環境活動についての報告が寄せられました。活動の中では一人ひとりの幼児が「たべものをのこさない」「みないテレビはけす」「みずをとめて てをあらう」「ものをたいせつにつかう」という **4つ**の環境活動のうち、**1年間**守り続けると約束するものを報告しました。その結果、全国から **7,641** の約束が集まり、これは年間 **511,947kg** の 二酸化炭素を削減する効果 (※) があります。

※ 日本環境協会監修の教材より算出

活動の様子は、以下のサイトでもご覧いただけます。

※URL ; <http://www.benesse.co.jp/kankyo/en/> (2009年度報告は3月8日オープン予定)

② 小・中・高校生の部**<内容>**

小・中・高校生向けにはそれぞれ環境をテーマにしたコンクールを開催し、子どもたちが「環境」について考えたことや実際に環境に配慮して行った活動の内容、身の回りの環境問題を解決するための提案や行動宣言などを募集しました。

<結果>

全国から小・中・高校生合わせて**5,172件**(2008年度は**1,079件**)の応募がありました。小学生対象のコンクール、「もっと！チャレンジ全国コンクール」については、**2009年12月**都内で表彰式も行いました。

「小・中・高校生環境活動コンクール」の受賞者と作品の詳細は「エコロ プロジェクト」のサイト (<http://www.benesse.co.jp/kankyo/ecolo/>) でもご覧いただけます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ベネッセコーポレーション 広報部 担当：西沢、濱野、十河

電話：042-356-0657 FAX：042-356-0722

詳細資料

【小学生の部】2009年度第6回「もっと！チャレンジ全国コンクール」の受賞者
(総応募数：69,354件)

小学生対象のコンクールでは、「環境部門」のほかに「作文部門」「自由研究部門」でも募集を行い、3部門合わせ69,354件の応募がありました。

■ 環境部門 地球にやさしいエコ活動（応募数：204件）

応募作品は、料理でできるエコやマイバッグの推進・ごみひろいなど、小学生の身近な問題に着目したテーマが多く見られました。知っているだけでなく、自分が実際にやってみること、そしてそれを人に伝えて活動の輪を広げることの大切さに気づくことができたという受賞者の声もありました。

<大賞> 2名

学年	氏名（出身県）	作品のタイトル
小5	岩崎 莉緒（福島県）	「私にできること～エコな生活～」
小6	前田 倫太郎（三重県）	「海にアマモの森をふやそう」

<優秀賞> 10名

学年	氏名（出身県）
小5	石垣到真（福岡）、今泉友斗（栃木）、岡部華恩（福岡県）、奥藤みゆ（兵庫県）、澤井詩音（静岡）、高田晃希（宮城）、古田楓（大阪）、松尾菜子（石川県）、村上純平（北海道）、吉里咲南（鹿児島）
小6	飯田梨央奈（静岡）、北澤光太（千葉）、黒田芽子（兵庫）、小池良祐（岐阜）、鈴木良汰（神奈川）、鉄本果歩（愛媛）、藤岡実央（和歌山）、宮城確（沖縄）、村松 友美（神奈川）、若洲花菜翠（神奈川）

《ご参考》 「環境部門」以外の募集部門における受賞者

 ※ 詳細については、<http://www.benesse.co.jp/s/land/concour/>をご覧ください。

■ 作文部門（応募数：47,615件）
<大賞> 6名

学年	氏名（出身県）	作品のタイトル
小1	片岡 慶太（兵庫県）	「ぼくがもしまほうでちいさくなれたら」
小2	福地 美玖（神奈川県）	「二年生のママに会いに行こう」
小3	茂木 泰生（石川県）	「妹の手紙」
小4	鈴木 杏奈（愛知県）	「弟の入院」
小5	植野 嵩大（岡山県）	「かっこいい大人になりたい」
小6	西 遼（岡山県）	「人を助けるロボット創り」

■ 自由研究部門（応募数：21,535件）
<大賞> 6名

学年	氏名（出身県）	作品のタイトル
小1	浦永 遥奈（福岡県）	「ばった」

小2	若名 朋範 (東京都)	「かに」
小3	木村 珠綺 (神奈川県)	「だんご虫のかんさつ」
小4	勝又 優紀 (静岡県)	「紫外線のひみつ パートII」
小5	柳 愛永 (富山県)	「トンネルの形が丸いのはなぜ？」
小6	河村 祐香 (山口県)	「メダカに適した環境調べ〜パートII」

【中学生の部】「中学生環境コンクール」の受賞者 (総応募数4,617件)

「きみが『もったいない』と思うこと」をテーマに、なぜそのテーマを選んだか、ほかの中学生にも実践できるように提案できているかなどを重視して受賞者を選考しました。

中学生対象のコンクールでは、「エコ・レポート部門」(応募数222件)のほかに「エコ・アクション部門」として日々の生活でCO₂削減のために実行できると思う環境活動を宣言してもらいました。同部門では4,395件の応募があり、中学生の行動宣言は1日平均約3トンのCO₂削減につながる内容でした。

※受賞者は、ご本人の希望により、イニシャルまたはペンネームで記載している場合があります。

■ エコ・レポート部門
<大賞> 1名

氏名 (出身県)	作品のタイトル
安藤 絢音(岐阜県)	「日本一暑いまちで考えた環境問題」

<優秀賞> 4名

氏名 (出身県)	作品のタイトル
寺田 優香 (長崎県)	「もったいないが世界を救う」
森泉 友稀 (東京都)	「もったいない 一紙を大切に使おう！」
KE (東京都)	「1番身近な可燃ごみ、1番もったいない！」
ひかる (香川県)	「eco☆style 地球が泣いている！」

【高校生の部】「高校生環境小論文コンクール」の受賞者 (総応募数351件)

「環境」をテーマに、800字という字数制限の中でアイデアを説得力のある文章で表現している作品が多く見受けられました。文章の論理性が優れているのはもちろん、アイデアの独創性や有効性がある作品を選び、入賞者を決定いたしました。

<論文課題>

あなたの身の回り(家、学校、地域の中)で、地球に負荷をかけていると思う問題を挙げ、地球にやさしい提案をください。その際、それがなぜ地球にやさしいか、理由とともに800字以内で述べなさい。

<最優秀賞> 1名

氏名	学校名	作品のタイトル
鈴木 俊文	自由の森学園高等学校	「学校における持続可能な木材利用」

<優秀賞> 2名

氏名	学校名	作品のタイトル
杉山 美咲	三本木高等学校	「割り箸も捨てたもんじゃない」
中瀬 寛美	香住高等学校	「環境配慮米」

<審査員賞> 9名

氏名	学校名	作品のタイトル
中本 悠希	柳井高等学校	「家庭における石けん普及の提案」
北條 有希子	吹田東高等学校	「漂着ごみをアートに、コミュニケーションに変える！」
依知川 成美	千葉学芸高等学校	「1円からの森林活動」
岩本 美咲	呉三津田高等学校	「土に戻るごみ」
山内 美幸	柳井高等学校	「紙の無駄遣いをなくせ！」
牧山 学	起工業高等学校	「反射板シート」
鉾立 将大	志布志高等学校	「食品の容器に密閉容器を」
渡邊 淳平	熊本マリスト学園高等学校	「ベランダ緑化計画のすすめ」
溝尾 玲奈	三木北高等学校	「傘のリユース」